

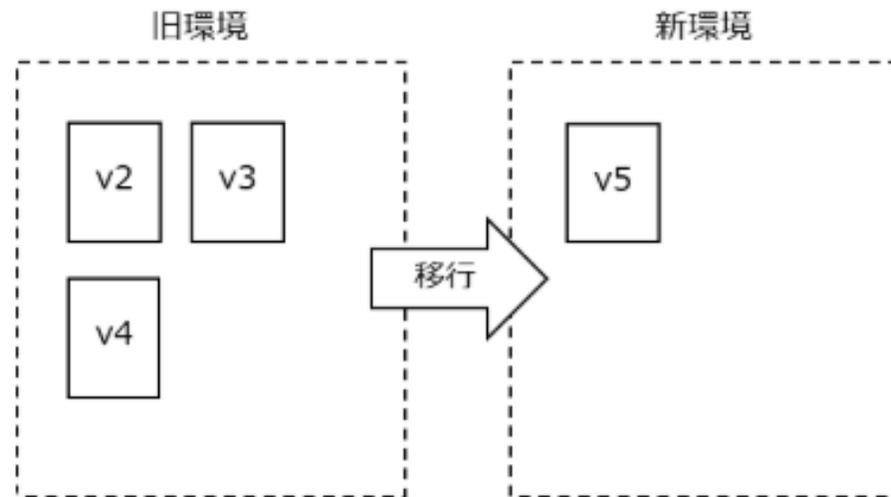
3. ハイパーバイザー新環境移行手順

- 移行概要
- 移行方針 / 構成パターン / 移行パターン
- 前提条件
- 注意事項
- 移行作業内容
- APIを利用した移行作業内容
- 切り戻し方法
- 手順通り進まない場合の対処方法

3. ハイパーバイザー新環境移行手順

■ 移行概要

- 本手順は、Smart Data Platform (SDPF) のJP5リージョンで稼働しているハイパーバイザーを新環境へ移行することを目的とします。
- 現在ご利用いただいているv2、v3、v4サーバーは新環境でご利用いただけないため、新環境で利用可能なv5サーバーへの切り替え（収容替え）が必要です。この手順書では、具体的な移行方法および手順を説明します。



3. ハイパーバイザー新環境移行手順

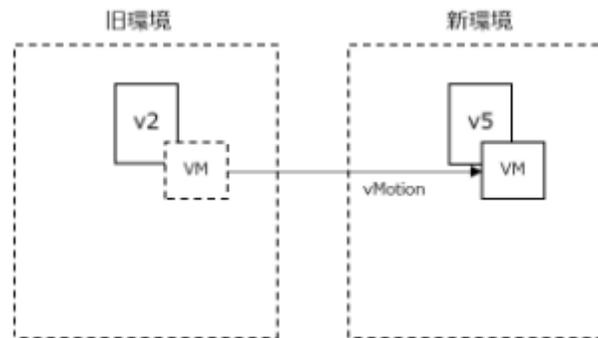
■ 移行方針

新環境への移行には、主に3つの方針があります。お客様のご利用状況に合わせて、いずれかを選択してください。

- パターンA：vMotionによるバージョンアップ

vSphereのvMotion機能を用いて仮想マシンを無停止で移行する手順です。

vMotion機能を用いて移行するためには、同一vCenter Server環境内での移行が前提となります。そのため、移行元・移行先のメジャーバージョンが同一、もしくはバージョンの差分が1世代以内に収まっている必要があります。

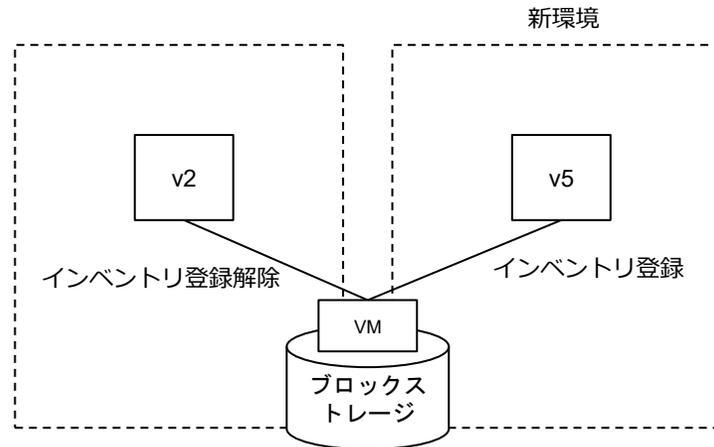


3. ハイパーバイザー新環境移行手順

■ 移行方針

- パターンB：インベントリ登録解除および登録による仮想マシン移行
vSphere ESXi上の仮想マシンの実態データが共有ストレージ（ブロックストレージ等）に保存されている場合に利用可能な手順です。
移行元vSphereにて仮想マシンのインベントリ登録解除し、新環境に作成したvSphereにてインベントリ登録する手順です。

vSphereのメジャーバージョンが大きく異なる場合の移行に有効です。
インベントリ登録解除および登録までの間、仮想マシンのシステム停止が発生しますが、「パターンC：OVFまたはOVAファイルのエクスポートおよびインポートによる仮想マシン移行」より短い時間での移行が可能です。



3. ハイパーバイザー新環境移行手順

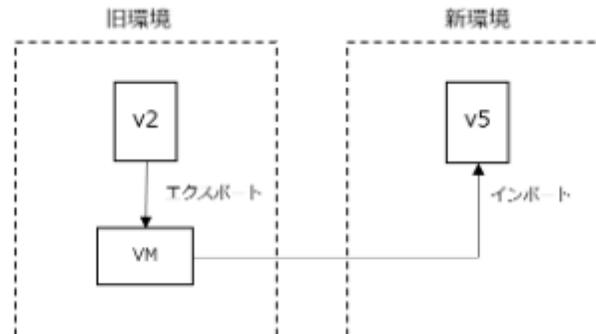
■ 移行方針

- パターンC：OVFまたはOVAファイルのエクスポートおよびインポートによる移行
vSphere ESXi上の仮想マシンをエクスポートし、移行先環境へインポートする手順です。
エクスポートからインポート完了するまでの間、仮想マシンのシステム停止が発生します。

エクスポートおよびインポート時間はvSphere ESXiのホストのフレーバーや仮想マシンのサイズによって大きく変動します。

移行元vSphereの仮想マシンをエクスポートし、新環境のvSphereへインポートする手順です。

vSphereのメジャーバージョンが大きく異なる場合の移行に有効です。
この方法では、仮想マシンの停止が伴います。



3. ハイパーバイザー新環境移行手順

■ 各バージョンの移行方針

移行元と移行先のバージョンは以下の通りです。

移行元バージョンが6以前はエクスポート&インポート、移行元バージョンが7以降はオンライン移行で新環境へ移行可能です。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
vSphere ESXi 5.5	vSphere ESXi 8.0	エクスポート&インポート
vSphere ESXi 6.0	vSphere ESXi 8.0	エクスポート&インポート
vSphere ESXi 6.5	vSphere ESXi 8.0	エクスポート&インポート
vSphere ESXi 6.7	vSphere ESXi 8.0	エクスポート&インポート
vSphere ESXi 7.0	vSphere ESXi 8.0	オンライン移行
vSphere ESXi 8.0	vSphere ESXi 8.0	オンライン移行

3. ハイパーバイザー新環境移行手順

■ 前提条件および注意事項

- SDPF JP5リージョンにてハイパーバイザーメニューをご利用中であること。
- 移行方針によって、以下の前提条件がございます。お客様自身にて適切な移行方針を実施してください。

移行方針：エクスポート&インポート

- エクスポート&インポートによる移行では、仮想マシンが一時的に停止します。

移行方針：オンライン移行

- 移行元と移行先のバージョン互換性が求められます。
以下URLにて、事前にバージョンの互換性を確認してください。

[Product Interoperability Matrix](#)

- 所要時間：移行作業にかかる時間は、データの容量やネットワーク環境によって異なります

3. ハイパーバイザー新環境移行手順

■ 移行作業手順

- ・ 移行作業内容および移行作業詳細については、下記ユースケースをご参照ください。

1. パターンA：vMotionによるバージョンアップ

- ・ [1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース | Smart Data Platform Knowledge Center](#)

① vSphere 8.0 移行編 (v1 vSphere7.0->v4 vSphere8.0)

② vSphere 7.0 移行編 (v2 vSphere6.7->v3 vSphere7.0)

③ vSphere 7.0 移行編 (v2 vSphere6.5->v3 vSphere7.0)

※vSphere 8.0からvSphere 8.0へ移行する場合は、①手順をvSphere8.0->vSphere8.0と読み替えて実施ください。

2. パターンB：インベントリ登録解除および登録による仮想マシン移行

- ・ [1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース | Smart Data Platform Knowledge Center](#)

3. パターンC：OVFまたはOVAファイルのエクスポートおよびインポートによる移行

- ・ [1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース | Smart Data Platform Knowledge Center](#)

3. ハイパーバイザー新環境移行手順

- APIを利用した移行作業内容および詳細
 - APIを利用した手順について、現時点での準備はございません。

3. ハイパーバイザー新環境移行手順

■ 切り戻し方法

- 各ユースケースでは、移行元環境削除前であれば、切り戻しが可能です。
切り戻し手順については、現時点では、準備はございません。

3. ハイパーバイザー新環境移行手順

■ 手順通り進まない場合の対処方法

- エラー等が発生した場合や手順に関する不明点がございましたら、チケットシステムよりチケット起票いただきお問い合わせください。

※チケット起票手順につきましては、「[SDPFクラウド/サーバー関連チケット起票方法](#)」をご参照ください。